

県立広島大学三原キャンパスで出前講座を実施しました。

労働委員会では、県内の大学と連携して、学生が就職後に必要な労働問題等に関する基礎知識を得られるよう出前講座を実施しています。

11月9日(木)、県立広島大学三原キャンパスの「キャリアデベロップメント」の受講生165名を対象に出前講座を行いました。

当委員会の塩満使用者委員が、「これだけは知っておきたい労働法～これから社会人となる学生のための労働問題の基礎知識」というテーマで、「働くとはそもそも何か」、「労働法の基礎知識」、「ブラック企業の見分け方」、「学生から社会人へのソフトランディングのために」などのアドバイスを行いました。



学生からは、「働くこととは、稼ぐこと、社会のために尽くすこと、そして自分の人生を豊かに幸せすることという話が印象に残った。」、「労働法を知っておくことは自分の身を守ることにつながるということがよく分かった。」、「働く中で困ったことがあれば、自分一人で悩まず誰かに相談することが必要と感じた。」といったコメントが寄せられました。

労働委員会では、今後も、参加者の意見等を参考にしながら、出前講座の充実を図っていきます。